

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属

人間科学部心身健康科学科／

大学院心身健康科学専攻

名 前 鍵谷 方子

作成日 2023年9月20日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

○担当科目（学部）

・人間科学部心身健康科学科：ヒューマン－人間のこころとからだ N（必修）／ヒューマン－未来社会の幸福 T/S（必修）／心身健康科学－こころとからだの健康科学 T/N（必修）／ヒトと人間の科学 T/N/S（選択）／ストレスと健康 T/N/S（選択）／共生と環境 T/N（選択）／からだの構造とはたらき T/N/S（選択）／女性とこころ・からだの健康 T（選択）／細胞といのちの営み T（選択）／プレゼンテーション論 T（選択）／総合演習（探究Ⅰ，Ⅱ）T/S／総合演習（理解Ⅰ，Ⅱ）T/S

・保健医療学部リハビリテーション学科・看護学科：生理学Ⅲ（必修）1年次／心身健康科学（必修）1年次／ヒューマンⅠ（必修）1年次

○担当科目（大学院）

・修士課程：心身健康科学特講 T・S（必修）／心身健康科学特論Ⅰ T・S（必修）／心身健康科学特論Ⅱ T・S（必修）／心身機能観察特講Ⅰ T・S（必修）／心身機能観察特講Ⅱ T・S（必修）／サイエンスコミュニケーション学 S（必修）／健康情報計測学 S（必修）／健康情報処理学 T・S（必修）／ストレス評価学 T・S（必修）／健康支援演習 S（必修）／ストレスマネジメント演習 S（必修）／心身機能観察特講Ⅰ T・S（選択必修）／心身機能観察特講Ⅱ T・S（選択必修）／ライフサイクルと健康特殊講義 T（選択）／心身健康科学研究Ⅰ R（必修）／心身健康科学研究Ⅱ R（必修）／

・博士後期課程：

心身健康心身健康科学特講 T・S（必修）／心身健康科学特殊講義 T・S（必修）／心身健康科学特殊演習Ⅰ EX（必修）／心身健康科学特殊演習Ⅱ EX（必修）／心身健康科学特殊演習Ⅲ EX（必修）／神経内分泌機能学特殊講義 T（選択）／ライフサイクルと健康特殊講義 T（選択）／心身健康科学特別研究指導Ⅰ R（必修）／心身健康科学特別研究指導Ⅱ R（必修）／心身健康科学特別研究指導Ⅲ R（必修）／

○委員会活動

人間科学部教務委員会／自己点検・評価委員会／倫理審査委員会／大学院等入試委員会／広報委員会

2. 理念（教育に対する考え方）

心身の科学的しくみの理解や生命進化の歴史を踏まえた理解を促すような教材作成や話題提供を通じて心身健康科学を学ぶことの楽しさをより深く感じていただくことを大切にしています。そして学生さんが本学で学んだ人間に対する総合的理解を基に、学ぶ意欲を生涯もち続けその学びを社会や生活の中で活かしてくださることを期待しています。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

どの科目においても、「こころ」「からだ」「環境・文化」からの視点を置いて総合的な人間理解につなげることを心がけ、心身健康科学科のディプロマ・ポリシーである「科学的な「人間の総合理解」「心身の相関性の理解」の上、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築を支援できる人材の養成」および大学全体のディプロマ・ポリシーにある「現実社会を「よりよく生きる」ための洞察力や生涯ぼうとする意欲、豊かな人間性」を育むことを大切に教育活動を行っています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

資料が分かりやすい，視野が広がった，興味が増したなどの評価をいただいている事は，今後も意識して持続的に授業に反映していきたいと思います．一方でスクーリングなどでお伝えしたいことが多くなり質問を受ける時間が不足しない様に心がけていきたいと思います。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

学部の授業にアクティブラーニングを効果的に取り入れることに取り組みます．科目によって望ましい設定や方法が異なると感じていますので，各々改善をしながらより最適な形を見出していくことを目標とします．大学院においては院生がより質の高い心身健康科学領域の研究テーマに取り組めるように自らも研究手法や学際性を高めることに注力してきていますが，中期目標として近年の新しい手法の修得に特に重点をおき進めます．

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

* TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）